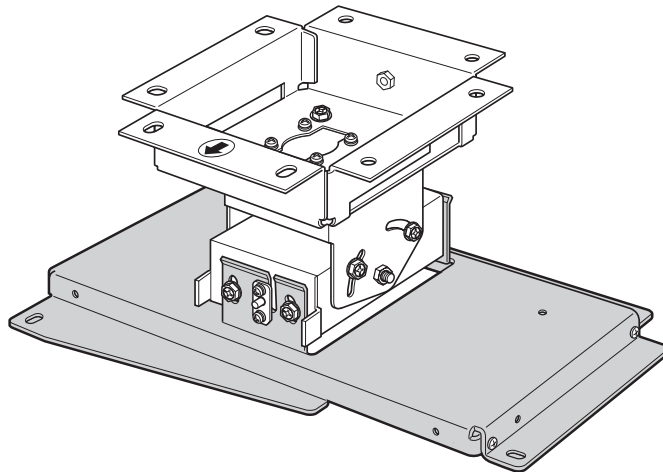


## 施工説明書

天つり金具(取り付け用ベース金具)

品番 **ET-PKE200B**



※本製品は以下の製品と組み合わせて使用します。  
下記製品以外とは組み合わせてご使用になれませんのでご注意ください。

- 天つり金具(低天井用) : ET-PKE200S
- 天つり金具(高天井用) : ET-PKE200H

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

### ■ お客様へ

この「施工説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。  
また、工事完了後は、この「施工説明書」を工事業者様よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。  
移設、撤去の際には、工事専門業者にご依頼のうえ、この「施工説明書」をお渡しください。

### ■ 工事業者様へ

この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。  
特に「安全上のご注意」(3~4ページ)は、施工前に必ずお読みください。  
工事完了後は、この「施工説明書」をお客様にお渡しください。

# ■ もくじ



安全上のご注意 .....	3~4
金具の構成 .....	5
取り付け用ベース金具をプロジェクターに取り付ける .....	6
落下防止ワイヤーを取り付ける .....	7
天つり金具にプロジェクターを取り付ける .....	8
外形寸法図 .....	9~10
投写レンズごとの投写距離 .....	11~13
仕様 .....	14

# 安全上のご注意




必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。




 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。



## 警告

	■ <b>天井取り付け(天つり)などの設置工事は専門の技術者あるいは購入店に依頼する</b> (工事の不備により、大きな事故の原因となります。) →この施工説明書の内容に従って確実に施工してください。
	■ <b>取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う</b> (工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。)
	■ <b>取り付け・設置作業は2人以上で行う</b> 頭上または高所への取り付け、プロジェクター本体の取り扱いを考慮し、取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。
	■ <b>取り付け作業は足場の安全を確保して行う</b> (倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。)
	■ <b>天つり金具のねじは、不用意に取り外したり、緩めたりしない</b> (プロジェクターが落下して、けがの原因となります。)
	■ <b>強度の不足する場所に取り付けない</b> (落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。)
	■ <b>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない</b> (火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下するおそれがあります。)
	■ <b>付属品(ねじ、落下防止ワイヤー、ワッシャー、固定板)は、乳幼児の手の届くところに置かない</b> (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) →万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。
 分解禁止	■ <b>天つり金具を分解したり、改造したりしない</b> (こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。)

## 安全上のご注意(つづき)



### 注意



- 指定のプロジェクター以外は取り付けない
- 指定の方法以外の取り付けは行わない  
(落下したり、破損してけがの原因になります。)

- プロジェクターの吸・排気をさまたげる場所に設置しない  
(火災の原因となることがあります。)

- プロジェクター本体や天つり金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない  
(プロジェクター本体が落下してけがの原因となることがあります。)



- 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する  
(こわれたりプロジェクターが落下してけがの原因になります。)

- 取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する  
(天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。)

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

# 金具の構成

本製品はプロジェクターを天井から吊り下げて設置する際に使用する金具です。

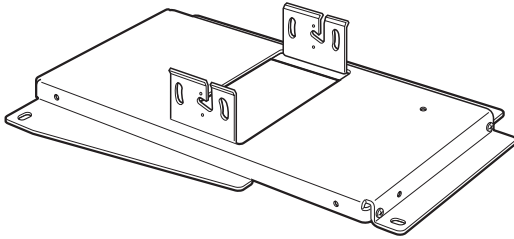
## ■対応している天つり金具

ET-PKE200S(低天井用)

ET-PKE200H(高天井用)

## ■構成部品一覧

取り付け用ベース金具…1個



落下防止ワイヤー…1本



ワッシャー…3枚



固定板…2枚



ねじA

ばね座金と平座金組込み  
十字穴付き六角ボルト  
M6×16mm…10本



ねじB

ばね座金と平座金組込み  
十字穴付きナベ小ねじ  
M3×8mm…4本



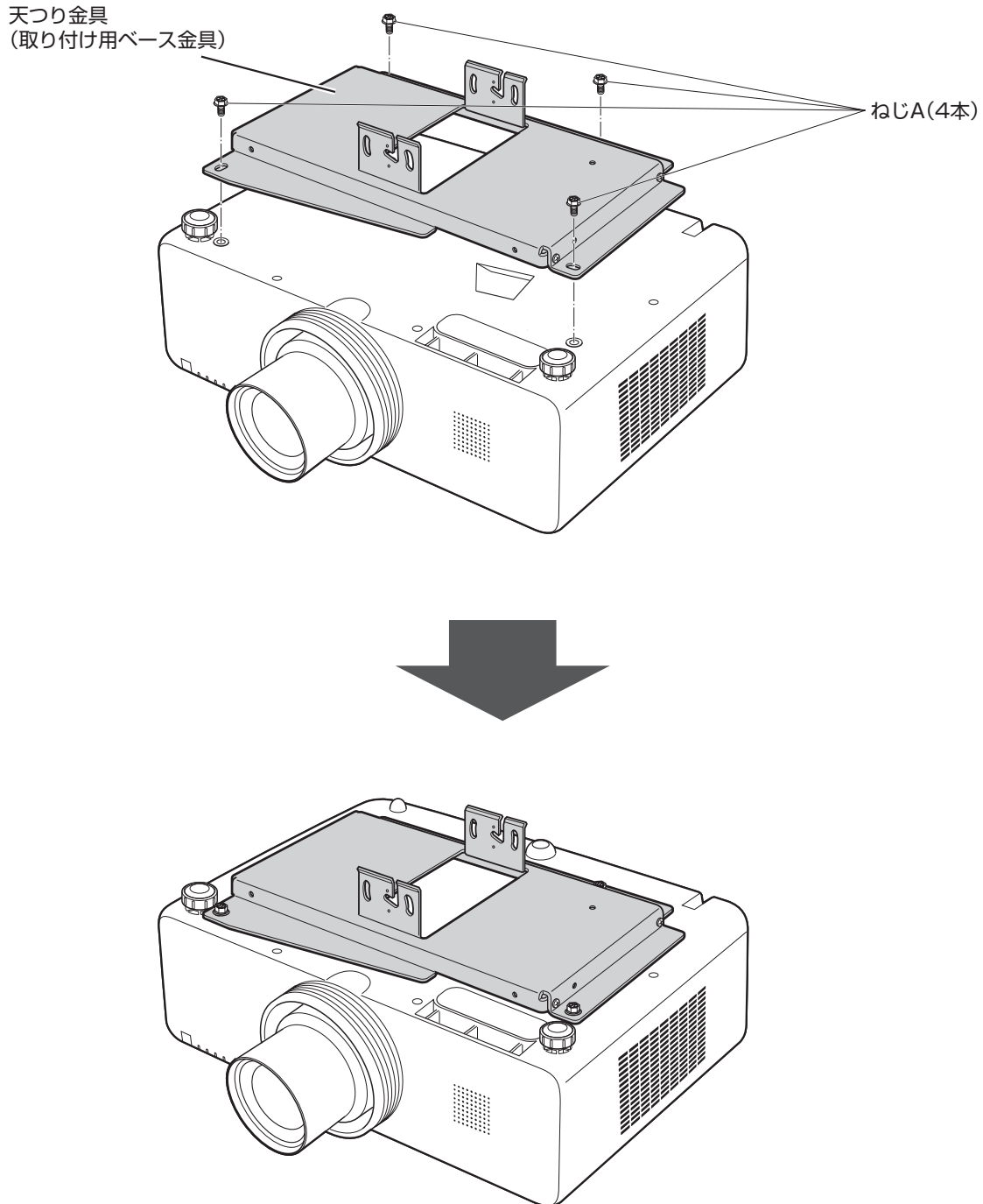
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締め付けトルクは、M6： $4 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ 、M3： $0.8 \pm 0.1 \text{N} \cdot \text{m}$ で管理してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。

## お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

# 取り付け用ベース金具をプロジェクターに取り付ける

プロジェクターを裏返し、同梱のねじA(4本)を使用して天つり金具(取り付け用ベース金具)を取り付けます。特に指定のない限り、イラストはプロジェクターPT-EZ570の場合を例にしています。



## 注意



ねじA(同梱品)の締め付けトルクは $4 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ としてください。  
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

# 落下防止ワイヤーを取り付ける

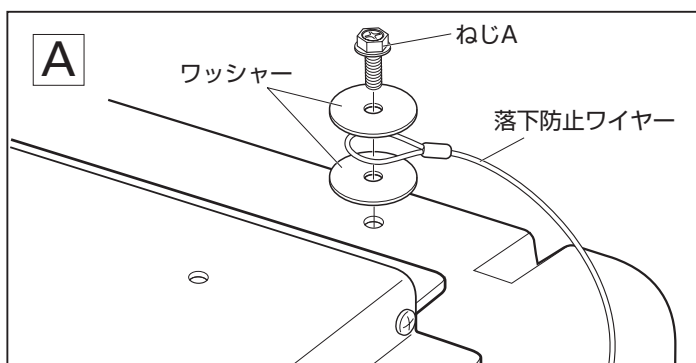
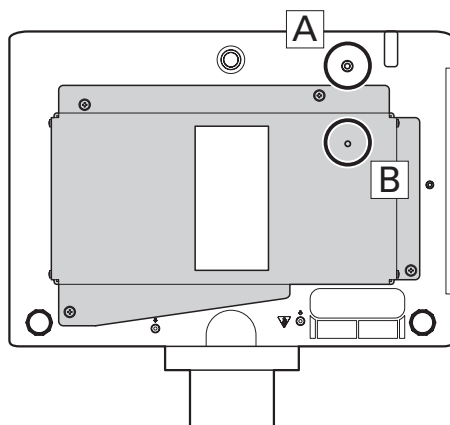
プロジェクター落下防止のため、プロジェクターと天つり金具(取り付け用ベース金具)を同梱の落下防止ワイヤーで結合します。(2か所)



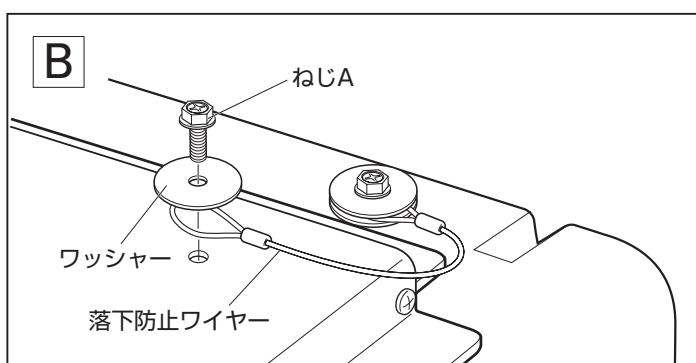
## 注意

### プロジェクターの落下防止について

- ここで説明されているプロジェクター本体の落下防止措置は必ず行ってください。



図のように、落下防止ワイヤーをねじAで結合します。(プロジェクターの傷付きを防ぐため、ワッシャー、ワイヤー、ワッシャーの順で取り付けます。)



図のように、落下防止ワイヤーをねじAで結合します。(天つり金具(取り付け用ベース金具)へはワイヤー、ワッシャーの順で取り付けます。)

### お願い

- 本製品と天つり金具(低天井用または高天井用)(別売品)との組み付け、および天井への落下防止ワイヤーの取り付けについては、ご使用になる天つり金具(低天井用または高天井用)の施工説明書をご覧ください。



## 注意



ねじA(同梱品)の締め付けトルクは $4 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ としてください。  
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

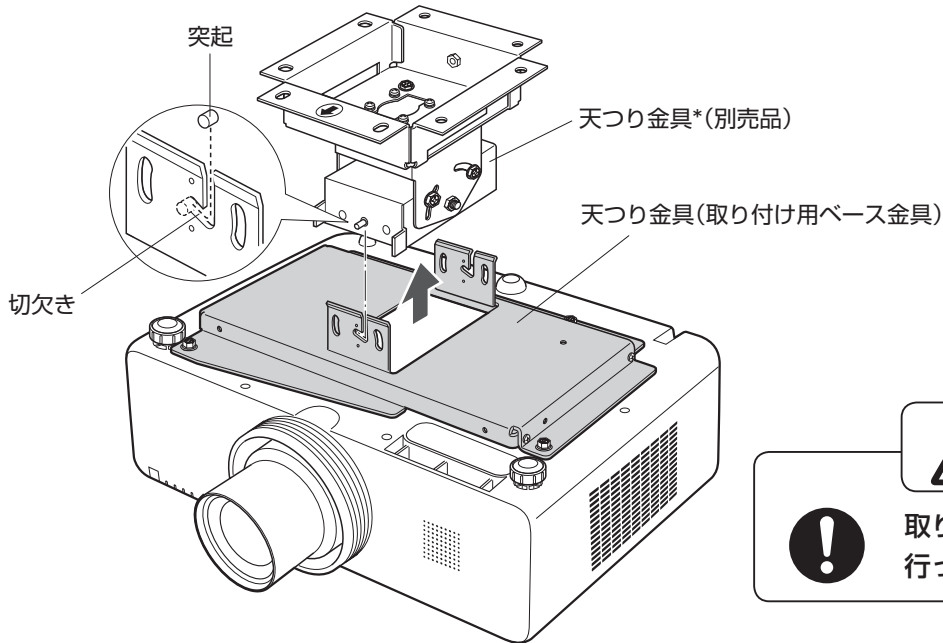
# 天つり金具\*にプロジェクターを取り付ける

- ① プロジェクターを取り付けた天つり金具(取り付け用ベース金具)の切欠き部分を、天井に固定した天つり金具\*(別売品)の突起(2か所)に引っ掛けます。



**注意**

このとき落下しないように注意してください。  
一時的に吊り下げているため固定されていません。

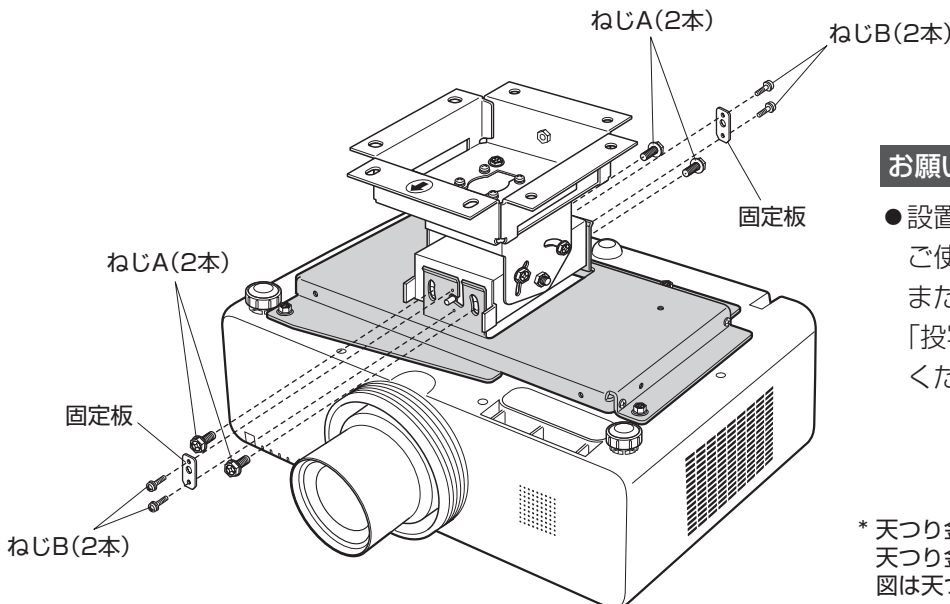


**警告**



取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。

- ② 同梱のねじA、固定板、ねじBを使用して、天つり金具\*(別売品)にしっかりと固定します。



**お願い**

- 設置角度の調整手順については、ご使用になる天つり金具(低天井用または高天井用)の施工説明書の「投写角度の調整のしかた」をご覧ください。

\* 天つり金具(低天井用)：ET-PKE200S  
天つり金具(高天井用)：ET-PKE200H  
図は天つり金具(低天井用)の例を示します。



**注意**



ねじA(同梱品)の締め付けトルクは $4 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ としてください。  
ねじB(同梱品)の締め付けトルクは $0.8 \pm 0.1 \text{ N} \cdot \text{m}$ としてください。  
正しく取り付けないとプロジェクターが落下して、けがの原因となります。

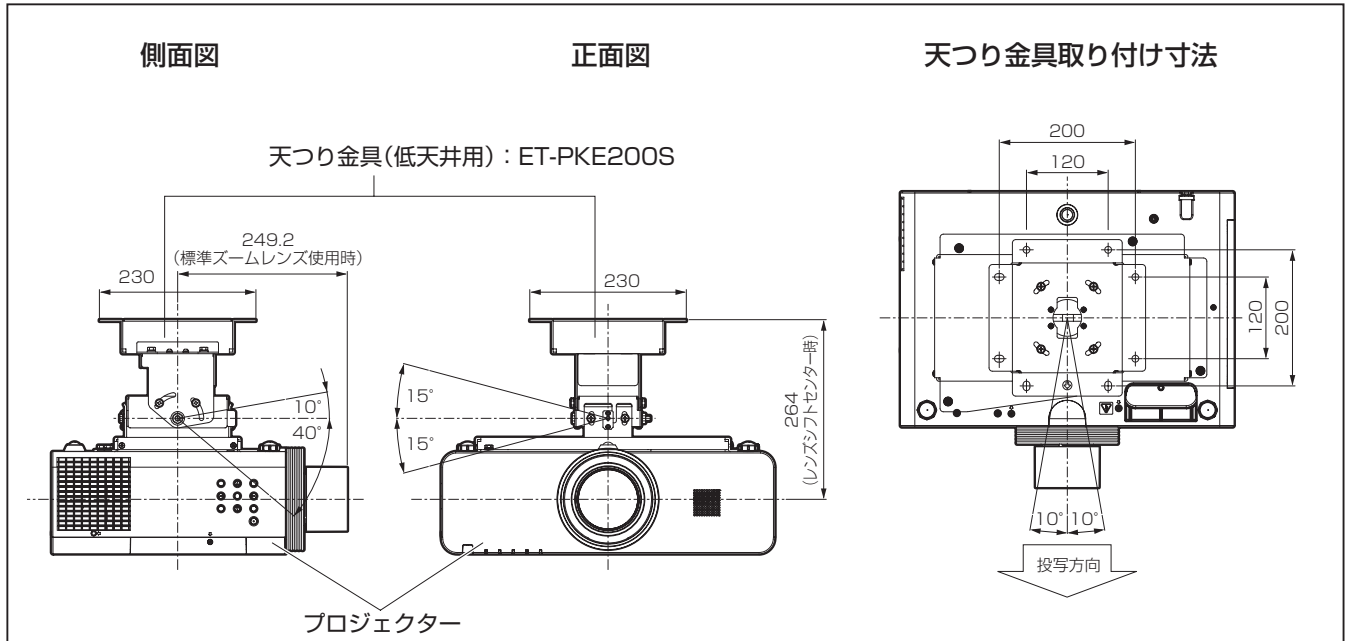


# 外形寸法図

プロジェクター：PT-EZ570/PT-EW630/PT-EW530/PT-EX600/PT-EX500

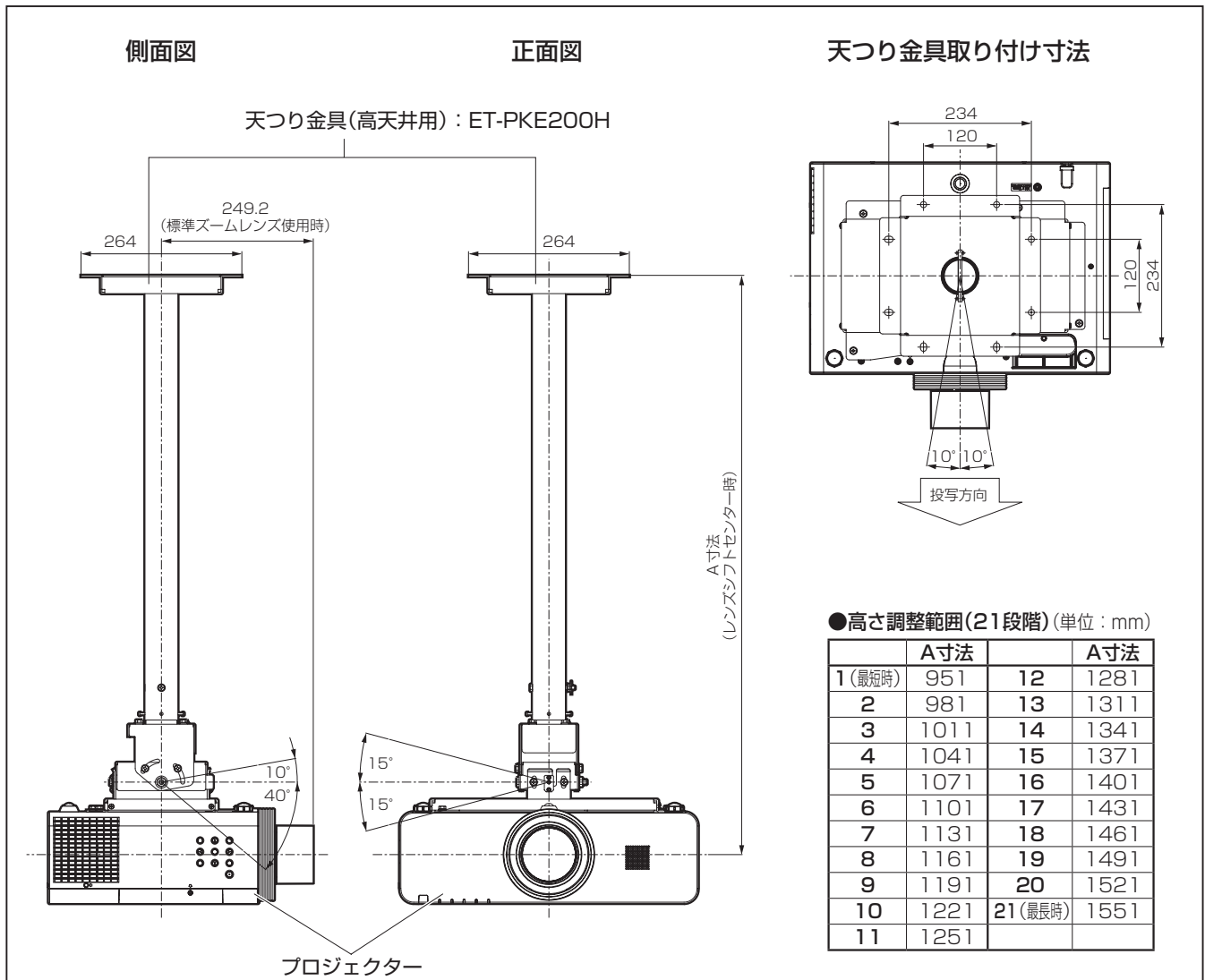
天つり金具(低天井用)使用時

(表示寸法 単位：mm)



天つり金具(高天井用)使用時

(表示寸法 単位：mm)

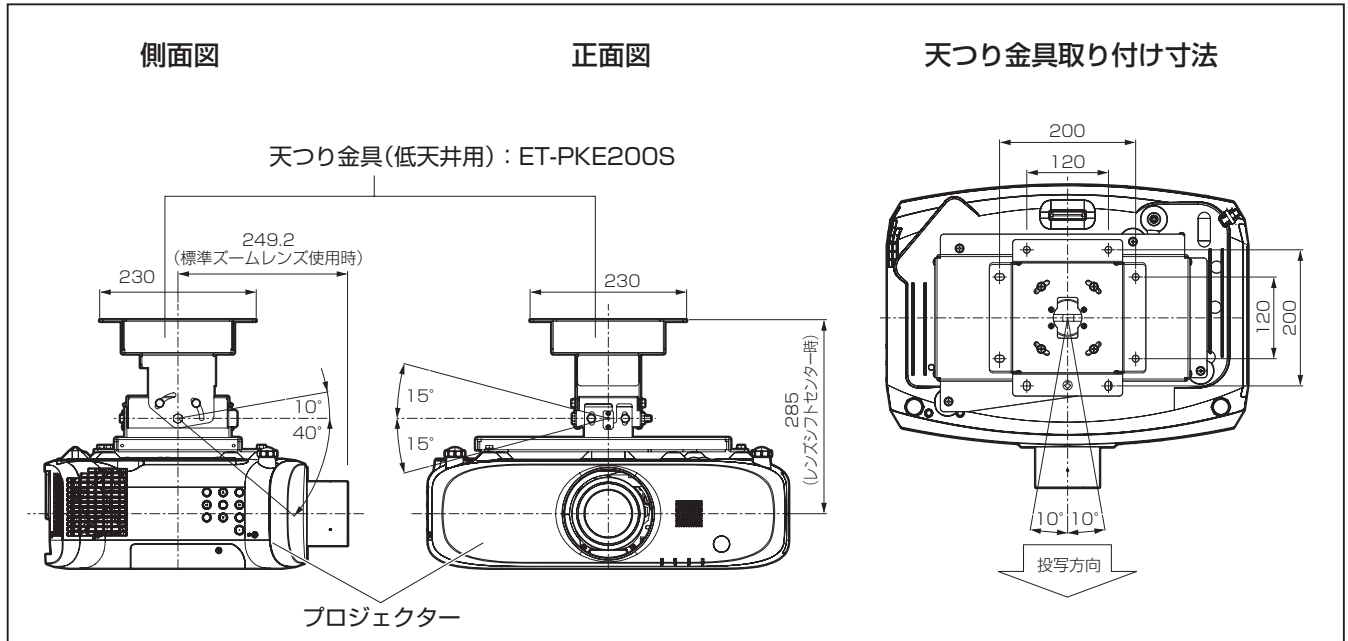


# 外形寸法図(つづき)

プロジェクター : PT-EZ770/PT-EW730/PT-EX800

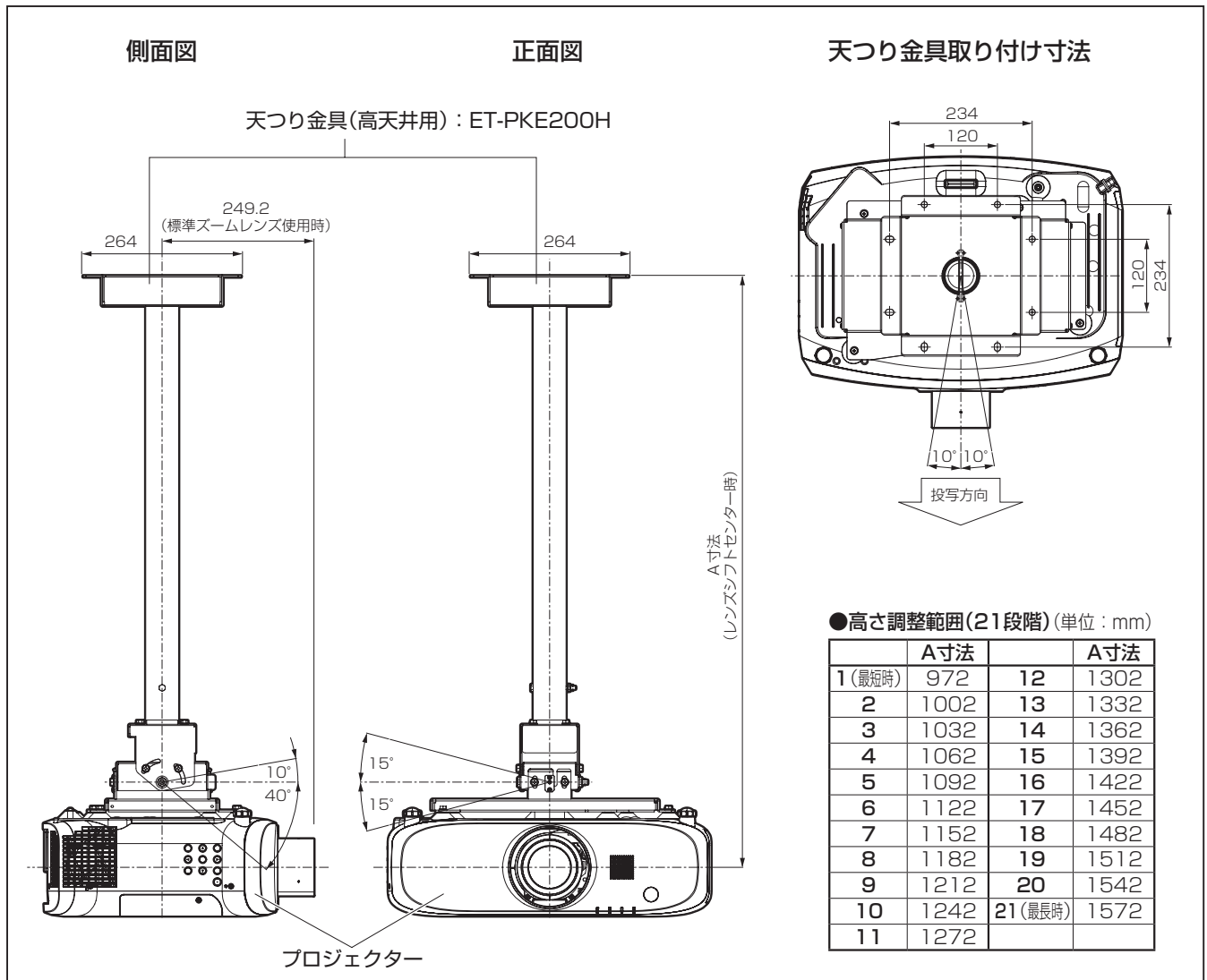
天つり金具(低天井用)使用時

(表示寸法 単位 : mm)



天つり金具(高天井用)使用時

(表示寸法 単位 : mm)

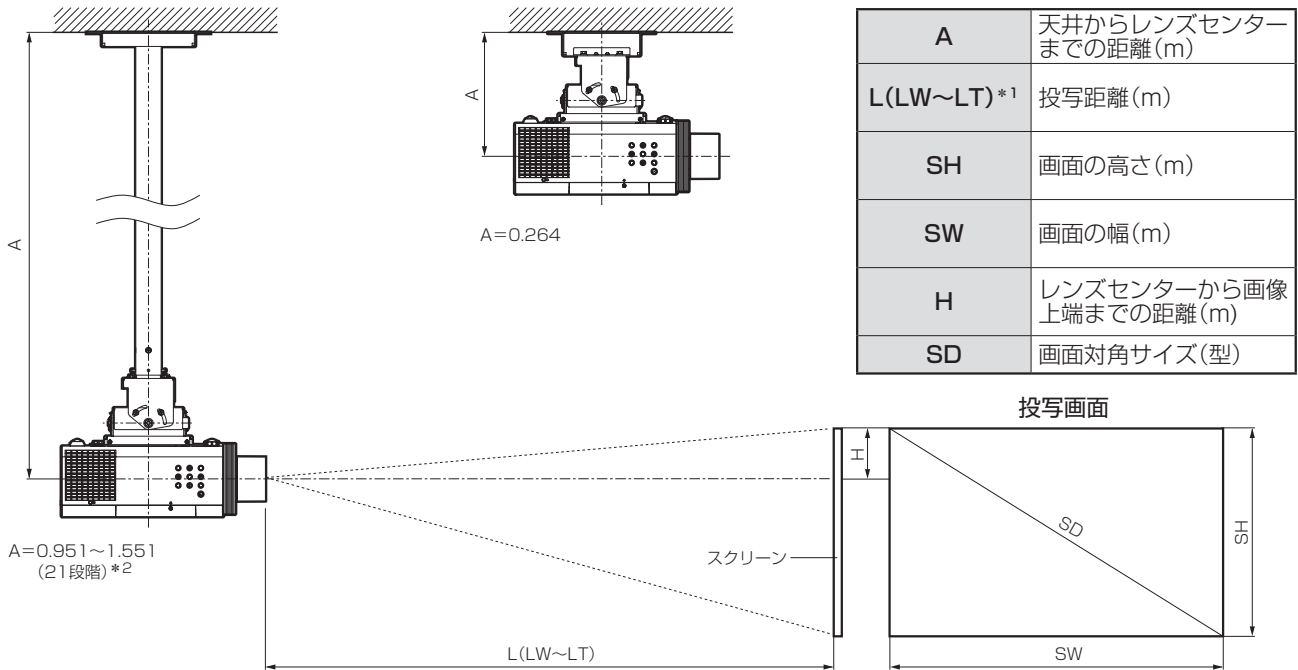


# 投写レンズごとの投写距離

本書の図は、PT-EZ570装着例を示します。

天つり金具(高天井用)使用時

天つり金具(低天井用)使用時



A=0.951~1.551  
(21段階)\*2

\*1: LW=ズームレンズ使用時、最短投写距離  
LT=ズームレンズ使用時、最長投写距離

\*2: 11ページ参照

記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。

また、[台形補正] 使用時は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

# 投写レンズごとの投写距離(つづき)

本書に記載のない画面サイズでご使用の場合は、投写画面サイズSD(m)をご確認のうえ、それぞれの計算式で投写距離を求めてください。式の単位はすべてmです。(下記の計算式で求められる値には、若干の誤差があります。)

## ■ 投写レンズ別投写距離計算式(PT-EZ770シリーズ, PT-EZ570シリーズ の場合)

レンズタイプ	投写レンズ品番	アスペクト比	投写距離(L)計算式	
標準ズームレンズ	—	16:10	最短(LW)	$L = 1.3900 \times SD - 0.0549$
			最長(LT)	$L = 2.3640 \times SD - 0.0482$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.4286 \times SD - 0.0549$
			最長(LT)	$L = 2.4297 \times SD - 0.0482$
		4:3	最短(LW)	$L = 1.5736 \times SD - 0.0549$
			最長(LT)	$L = 2.6763 \times SD - 0.0482$
固定焦点レンズ	ET-ELW21	16:10	—	$L = 0.6763 \times SD - 0.0577$
		16:9	—	$L = 0.6951 \times SD - 0.0577$
		4:3	—	$L = 0.7656 \times SD - 0.0577$
短焦点ズームレンズ	ET-ELW20	16:10	最短(LW)	$L = 1.0557 \times SD - 0.0555$
			最長(LT)	$L = 1.4374 \times SD - 0.0534$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.0851 \times SD - 0.0555$
			最長(LT)	$L = 1.4774 \times SD - 0.0534$
		4:3	最短(LW)	$L = 1.1952 \times SD - 0.0555$
			最長(LT)	$L = 1.6273 \times SD - 0.0534$
長焦点ズームレンズ	ET-ELT20	16:10	最短(LW)	$L = 2.3662 \times SD - 0.1140$
			最長(LT)	$L = 3.8583 \times SD - 0.1129$
		16:9	最短(LW)	$L = 2.4320 \times SD - 0.1140$
			最長(LT)	$L = 3.9656 \times SD - 0.1129$
		4:3	最短(LW)	$L = 2.6788 \times SD - 0.1140$
			最長(LT)	$L = 4.3680 \times SD - 0.1129$
超長焦点ズームレンズ	ET-ELT21	16:10	最短(LW)	$L = 3.8667 \times SD - 0.2123$
			最長(LT)	$L = 6.1416 \times SD - 0.2108$
		16:9	最短(LW)	$L = 3.9742 \times SD - 0.2123$
			最長(LT)	$L = 6.3123 \times SD - 0.2108$
		4:3	最短(LW)	$L = 4.3775 \times SD - 0.2123$
			最長(LT)	$L = 6.9529 \times SD - 0.2108$

## ■ 投写レンズ別投写距離計算式(PT-EW730シリーズ, PT-EW630シリーズ, PT-EW530シリーズの場合)

レンズタイプ	投写レンズ品番	アスペクト比	投写距離(L)計算式	
標準ズームレンズ	—	16:10	最短(LW)	$L = 1.4062 \times SD - 0.0504$
			最長(LT)	$L = 2.3944 \times SD - 0.0497$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.4452 \times SD - 0.0504$
			最長(LT)	$L = 2.4609 \times SD - 0.0497$
		4:3	最短(LW)	$L = 1.5919 \times SD - 0.0504$
			最長(LT)	$L = 2.7106 \times SD - 0.0497$
固定焦点レンズ	ET-ELW21	16:10	—	$L = 0.6842 \times SD - 0.0572$
		16:9	—	$L = 0.7032 \times SD - 0.0572$
		4:3	—	$L = 0.7746 \times SD - 0.0572$
短焦点ズームレンズ	ET-ELW20	16:10	最短(LW)	$L = 1.0702 \times SD - 0.0554$
			最長(LT)	$L = 1.4530 \times SD - 0.0534$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.1000 \times SD - 0.0554$
			最長(LT)	$L = 1.4934 \times SD - 0.0534$
		4:3	最短(LW)	$L = 1.2116 \times SD - 0.0554$
			最長(LT)	$L = 1.6449 \times SD - 0.0534$
長焦点ズームレンズ	ET-ELT20	16:10	最短(LW)	$L = 2.3952 \times SD - 0.1139$
			最長(LT)	$L = 3.9041 \times SD - 0.1128$
		16:9	最短(LW)	$L = 2.4617 \times SD - 0.1139$
			最長(LT)	$L = 4.0126 \times SD - 0.1128$
		4:3	最短(LW)	$L = 2.7115 \times SD - 0.1139$
			最長(LT)	$L = 4.4197 \times SD - 0.1128$
超長焦点ズームレンズ	ET-ELT21	16:10	最短(LW)	$L = 3.9138 \times SD - 0.2127$
			最長(LT)	$L = 6.2152 \times SD - 0.2107$
		16:9	最短(LW)	$L = 4.0226 \times SD - 0.2127$
			最長(LT)	$L = 6.3880 \times SD - 0.2107$
		4:3	最短(LW)	$L = 4.4307 \times SD - 0.2127$
			最長(LT)	$L = 7.0361 \times SD - 0.2107$

## 投写レンズごとの投写距離(つづき)

### ■ 投写レンズ別投写距離計算式(PT-EX800シリーズ, PT-EX600シリーズ, PT-EX500シリーズの場合)

レンズタイプ	投写レンズ品番	アスペクト比	投写距離(L)計算式	
標準ズームレンズ	—	4:3	最短(LW)	$L = 1.3346 \times SD - 0.0553$
			最長(LT)	$L = 2.2677 \times SD - 0.0480$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.4541 \times SD - 0.0553$
			最長(LT)	$L = 2.4707 \times SD - 0.0480$
固定焦点レンズ	ET-ELW21	4:3	—	$L = 0.6496 \times SD - 0.0585$
		16:9	—	$L = 0.7078 \times SD - 0.0585$
短焦点ズームレンズ	ET-ELW20	4:3	最短(LW)	$L = 1.0118 \times SD - 0.0558$
			最長(LT)	$L = 1.3780 \times SD - 0.0540$
		16:9	最短(LW)	$L = 1.1024 \times SD - 0.0558$
			最長(LT)	$L = 1.5013 \times SD - 0.0540$
長焦点ズームレンズ	ET-ELT20	4:3	最短(LW)	$L = 2.2693 \times SD - 0.1142$
			最長(LT)	$L = 3.7031 \times SD - 0.1129$
		16:9	最短(LW)	$L = 2.4724 \times SD - 0.1142$
			最長(LT)	$L = 4.0346 \times SD - 0.1129$
超長焦点ズームレンズ	ET-ELT21	4:3	最短(LW)	$L = 3.7091 \times SD - 0.2132$
			最長(LT)	$L = 5.8937 \times SD - 0.2109$
		16:9	最短(LW)	$L = 4.0339 \times SD - 0.2132$
			最長(LT)	$L = 6.4212 \times SD - 0.2109$


# 仕様

外形寸法	横幅400 mm 高さ71 mm 奥行261 mm
質量	約2.4 kg

# Memo

---

パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒 571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話  0120-872-601